

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2021年3月25日まで（2011年4月8日設定）	
運用方針	ファミリーファンド方式により、安定したインカムゲインの確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要運用対象	ベビーファンド	メキシコ・ペソ債券オープン マザーファンド受益証券
	マザーファンド	メキシコ・ペソ建のソプリン債券（国債、政府保証債等をいいます。）および準ソプリン債券（政府の出資比率が50%を超えている企業の発行する債券をいいます。）
運用方法	メキシコ・ペソ建のソプリン債券および準ソプリン債券を主要投資対象とし、残存期間の異なる債券に分散して投資を行います。	
主な組入制限	ベビーファンド	<ul style="list-style-type: none"> ・マザーファンドへの投資割合は、制限を設けません。 ・ソプリン債券以外への実質投資割合は、取得時において、当ファンドの純資産総額の35%以内とします。 ・同一企業が発行する債券への実質投資割合は、当ファンドの純資産総額の10%以内とします。 ・外貨建資産への実質投資割合は、制限を設けません。
	マザーファンド	<ul style="list-style-type: none"> ・ソプリン債券以外への投資割合は、取得時において、当マザーファンドの純資産総額の35%以内とします。 ・同一企業が発行する債券への投資割合は、当マザーファンドの純資産総額の10%以内とします。 ・外貨建資産への投資割合は、制限を設けません。
分配方針	毎月25日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して、分配金額を決定します。（ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わない場合もあります。）	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

国際 メキシコ・ペソ債券オープン （毎月決算型）



第73期（決算日：2017年4月25日）
 第74期（決算日：2017年5月25日）
 第75期（決算日：2017年6月26日）
 第76期（決算日：2017年7月25日）
 第77期（決算日：2017年8月25日）
 第78期（決算日：2017年9月25日）



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「国際 メキシコ・ペソ債券オープン（毎月決算型）」は、去る9月25日に第78期の決算を行いましたので、法令に基づいて第73期～第78期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 URL:<http://www.am.mufg.jp/>

本資料の記載内容に関するお問い合わせ先

お客さま専用フリーダイヤル TEL. 0120-151034

(9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

お客さまのお取引内容につきましては、お取り扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	純 資 産 総 額
		税 分	込 配	み 期 金 騰 落 中 率			
	円		円		%	%	百万円
49期(2015年4月27日)	10,476		120	△ 3.4	94.6	—	441
50期(2015年5月25日)	10,673		120	3.0	95.9	—	455
51期(2015年6月25日)	10,587		120	0.3	97.9	—	450
52期(2015年7月27日)	9,995		120	△ 4.5	96.7	—	432
53期(2015年8月25日)	9,043		120	△ 8.3	97.6	—	371
54期(2015年9月25日)	9,238		120	3.5	96.2	—	368
55期(2015年10月26日)	9,492		90	3.7	95.6	—	411
56期(2015年11月25日)	9,488		90	0.9	95.6	—	454
57期(2015年12月25日)	8,843		90	△ 5.8	97.0	—	423
58期(2016年1月25日)	8,146		90	△ 6.9	97.9	—	383
59期(2016年2月25日)	7,755		90	△ 3.7	96.5	—	284
60期(2016年3月25日)	8,023		90	4.6	95.7	—	295
61期(2016年4月25日)	7,945		90	0.1	95.6	—	299
62期(2016年5月25日)	7,307		90	△ 6.9	93.5	—	283
63期(2016年6月27日)	6,573		90	△ 8.8	96.4	—	262
64期(2016年7月25日)	6,971		60	7.0	96.5	—	279
65期(2016年8月25日)	6,593		60	△ 4.6	96.2	—	270
66期(2016年9月26日)	6,085		60	△ 6.8	94.9	—	257
67期(2016年10月25日)	6,680		60	10.8	94.8	—	302
68期(2016年11月25日)	6,210		60	△ 6.1	93.9	—	298
69期(2016年12月26日)	6,405		60	4.1	95.8	—	310
70期(2017年1月25日)	5,898		60	△ 7.0	82.3	—	370
71期(2017年2月27日)	6,334		60	8.4	95.3	—	435
72期(2017年3月27日)	6,580		60	4.8	92.7	—	537
73期(2017年4月25日)	6,479		60	△ 0.6	95.7	—	527
74期(2017年5月25日)	6,643		60	3.5	93.2	—	616
75期(2017年6月26日)	6,917		60	5.0	96.0	—	598
76期(2017年7月25日)	6,958		60	1.5	95.5	—	445
77期(2017年8月25日)	6,859		60	△ 0.6	96.4	—	489
78期(2017年9月25日)	7,005		60	3.0	96.5	—	495

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
第73期	(期 首) 2017年 3月27日	円 6,580		% —	% 92.7		% —
	3月末	6,705		1.9	95.1		—
	(期 末) 2017年 4月25日	6,539		△0.6	95.7		—
第74期	(期 首) 2017年 4月25日	6,479		—	95.7		—
	4月末	6,472		△0.1	94.2		—
	(期 末) 2017年 5月25日	6,703		3.5	93.2		—
第75期	(期 首) 2017年 5月25日	6,643		—	93.2		—
	5月末	6,501		△2.1	93.3		—
	(期 末) 2017年 6月26日	6,977		5.0	96.0		—
第76期	(期 首) 2017年 6月26日	6,917		—	96.0		—
	6月末	6,943		0.4	93.4		—
	(期 末) 2017年 7月25日	7,018		1.5	95.5		—
第77期	(期 首) 2017年 7月25日	6,958		—	95.5		—
	7月末	6,892		△0.9	95.1		—
	(期 末) 2017年 8月25日	6,919		△0.6	96.4		—
第78期	(期 首) 2017年 8月25日	6,859		—	96.4		—
	8月末	6,896		0.5	96.6		—
	(期 末) 2017年 9月25日	7,065		3.0	96.5		—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

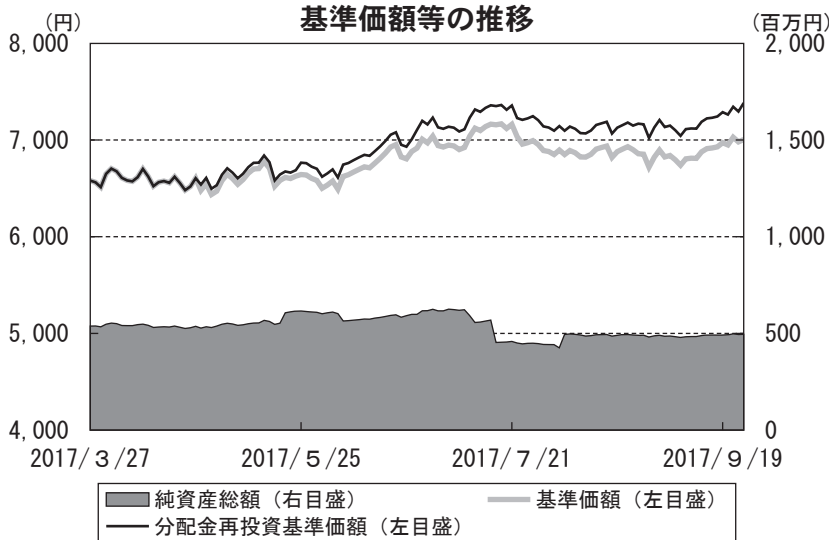
(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

当作成期中の基準価額等の推移について（第73期～第78期：2017/3/28～2017/9/25）

基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ12.2%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。



第73期首：6,580円
 第78期末：7,005円
 (既払分配金 360円)
 騰落率：12.2%
 (分配金再投資ベース)

- ・分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なるため、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の主な変動要因

上昇要因

メキシコ・ペソが対円で上昇したことや、保有債券の利回りが低下したこと、保有債券の利息収入が得られたことが、基準価額の上昇要因となりました。

投資環境について

（第73期～第78期：2017/3/28～2017/9/25）

利回りの推移



（注）現地日付ベースで記載しております。

◎債券市況

・メキシコの債券市場では、長期金利は低下しました。当作成期初は米国政府が北米自由貿易協定（NAFTA）からの早期の脱退意向を表明するための大統領令を検討していると報道されたことや、メキシコの消費者物価指数（CPI）の伸び率が市場予想を上回り、追加利上げ観測が高まったことなどを背景に、金利は上昇しました。しかしその後、2017年6月の金融政策決定会合で中央銀行であるメキシコ銀行が利上げを決定したものの、投票メンバーの1人が利上げに反対するなど先行きについて中立的な姿勢を示唆したことなどから金利は低下し、当作成期を通じて見ると長期金利は低下しました。

為替市況の推移
（当作成期首を100として指数化）



◎為替市況

・メキシコ・ペソは対円で上昇しました。米国の物価関連指標が市場予想を下回ったことに加え、トランプ大統領を巡る疑惑などを背景に今後の各種政策遂行速度が低下するのではないかとこの疑念が広がったことなどから、米国長期金利が低下基調に転じる中、相対的に高利回りの新興国通貨が選好され、メキシコ・ペソは対円で上昇しました。また、2018年の次期大統領選挙の前哨戦とみられたメキシコの地方選挙で、与党・制度的革命党（PRI）が勝利し、国内の政治リスクが後退したことなども、メキシコ・ペソが対円で上昇する要因となりました。

当該投資信託のポートフォリオについて

<国際 メキシコ・ペソ債券オープン（毎月決算型）>

- ・メキシコ・ペソ債券オープン マザーファンド受益証券を主要投資対象としており、実質的な運用はマザーファンドで行いました。

<メキシコ・ペソ債券オープン マザーファンド>

- ・基準価額は当作成期首に比べ12.6%の上昇となりました。
- ・メキシコ・ペソ建のソブリン債券（国債、政府保証債等をいいます。以下同じ。）、準ソブリン債券（政府の出資比率が50%を超えている企業の発行する債券をいいます。以下同じ。）を主要投資対象として、これらの債券を高位に組み入れ、残存期間の異なる債券に分散して投資を行うことで、特定年限の債券の金利水準や価格変動の影響を軽減させることをめざして運用を行いました。
- ・各残存期間ごとの投資金額が同額程度となるような運用をめざしましたが、債券の発行状況等により同額程度とならないこともありました。
- ・前記の運用を行った結果、メキシコ・ペソが対円で上昇したことや、保有債券の利回りが低下したこと、保有債券の利息収入が得られたことなどがプラスに寄与し、基準価額は当作成期首に比べ上昇しました。

（ご参考）

残存期間別組入比率

残存期間	作成期首 (2017年3月27日) 比率	作成期末 (2017年9月25日) 比率
0～1年	9.2%	10.0%
1～2年	8.9%	9.6%
2～3年	9.1%	19.3%
3～4年	9.1%	9.5%
4～5年	9.4%	9.9%
5～6年	9.1%	—
6～7年	9.6%	9.9%
7～8年	9.5%	9.3%
8～9年	9.8%	9.8%
9～10年	—	9.6%
10年超	9.3%	—

格付別組入比率

格付種類	作成期首 (2017年3月27日) 比率	作成期末 (2017年9月25日) 比率
A A A	—	—
A A	—	—
A	93.0%	96.7%
B B B	—	—
B B	—	—
B 以下	—	—
無格付	—	—

債券種別組入比率

種別	作成期首 (2017年3月27日) 比率	作成期末 (2017年9月25日) 比率
国債証券	93.0%	96.7%
特殊債券	—	—
社債券	—	—
地方債証券	—	—

- ・組入比率は、マザーファンドの純資産総額に対する割合です。
- ・格付は、Moody's と S & P の格付けのうち、上位の格付けを S & P の表示方法で表記しています。（出所：Bloomberg）

当該投資信託のベンチマークとの差異について

- ・当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。
- ・従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配原資の内訳】

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第73期	第74期	第75期	第76期	第77期	第78期
	2017年3月28日～ 2017年4月25日	2017年4月26日～ 2017年5月25日	2017年5月26日～ 2017年6月26日	2017年6月27日～ 2017年7月25日	2017年7月26日～ 2017年8月25日	2017年8月26日～ 2017年9月25日
当期分配金	60	60	60	60	60	60
（対基準価額比率）	0.918%	0.895%	0.860%	0.855%	0.867%	0.849%
当期の収益	32	33	41	38	34	40
当期の収益以外	28	27	18	22	26	19
翌期繰越分配対象額	1,337	1,314	1,297	1,279	1,258	1,240

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

<国際 メキシコ・ペソ債券オープン（毎月決算型）>

◎今後の運用方針

- ・引き続き、メキシコ・ペソ債券オープン マザーファンド受益証券の組入比率を高位に保ち運用を行っていく方針です。

<メキシコ・ペソ債券オープン マザーファンド>

◎運用環境の見通し

- ・債券市場では、期待インフレ率は安定して推移しており今後物価はピークアウトするとみられるものの、中央銀行であるメキシコ銀行は物価水準が目標範囲内になるまでは現状の政策金利水準を維持すると思われ、国債利回りは安定して推移するとみています。
- ・為替市場では、米国のメキシコに対する強硬姿勢は軟化してきており、NAFTAの再交渉も早期妥結する可能性があることなどから、相対的に高い金利水準などを背景にメキシコ・ペソは日本円に対して底堅く推移するとみています。

◎今後の運用方針

- ・引き続き、メキシコ・ペソ建のソブリン債券、準ソブリン債券を主要投資対象として、残存期間の異なる債券に分散して投資を行うことで、特定年限の債券の金利水準や価格変動の影響を軽減させることをめざして運用を行います。
- ・各残存期間ごとの投資金額が同額程度となるような運用をめざします。なお、債券の発行状況等により同額程度とならない場合があります。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2017年3月28日～2017年9月25日)

項 目	第73期～第78期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	22	0.320	(a) 信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率× (作成期中の日数÷年間日数)
（ 投 信 会 社 ）	(10)	(0.149)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（ 販 売 会 社 ）	(10)	(0.155)	交付運用報告書等各种書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(1)	(0.016)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	4	0.053	(b) その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(3)	(0.048)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.002)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	26	0.373	
作成期中の平均基準価額は、6,734円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

(2017年3月28日～2017年9月25日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第73期～第78期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
メキシコ・ペソ債券オープン マザーファンド	千口 184,290	千円 218,227	千口 271,415	千円 329,215

○利害関係人との取引状況等

(2017年3月28日～2017年9月25日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2017年3月28日～2017年9月25日)

作成期首残高(元本)	当作成期設定元本	当作成期解約元本	作成期末残高(元本)	取引の理由
百万円 120	百万円 -	百万円 120	百万円 -	当初設定時における取得とその処分

○組入資産の明細

(2017年9月25日現在)

親投資信託残高

銘	柄	第72期末		第78期末	
		口	数	口	数
			千口		千円
メキシコ・ペソ債券オープン	マザーファンド		477,238	390,113	493,766

マザーファンドの組入資産の明細につきましては、マザーファンド頁をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2017年9月25日現在)

項	目	第78期末	
		評 価 額	比 率
		千円	%
メキシコ・ペソ債券オープン	マザーファンド	493,766	98.2
コール・ローン等、その他		9,275	1.8
投資信託財産総額		503,041	100.0

(注) メキシコ・ペソ債券オープン マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産 (488,225千円) の投資信託財産総額 (495,316千円) に対する比率は98.6%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1メキシコペソ=6.34円			
---------------	--	--	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第73期末	第74期末	第75期末	第76期末	第77期末	第78期末
	2017年4月25日現在	2017年5月25日現在	2017年6月26日現在	2017年7月25日現在	2017年8月25日現在	2017年9月25日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	533,212,834	622,498,591	608,444,663	451,446,105	494,424,266	503,041,565
コール・ローン等	7,319,693	8,088,068	8,733,548	6,834,222	6,454,356	7,731,733
メキシコ・ペソ債券オープン マザーファンド(評価額)	525,893,141	614,410,523	596,764,977	444,567,590	487,833,028	493,766,556
未収入金	—	—	2,946,138	44,293	136,882	1,543,276
(B) 負債	5,720,848	6,260,721	9,909,140	5,537,665	5,127,530	7,807,596
未払収益分配金	4,884,811	5,565,954	5,191,782	3,844,879	4,279,875	4,241,644
未払解約金	556,622	397,468	4,378,471	1,399,788	584,089	3,295,391
未払信託報酬	277,563	295,325	336,640	291,057	261,820	268,765
未払利息	13	14	15	12	11	13
その他未払費用	1,839	1,960	2,232	1,929	1,735	1,783
(C) 純資産総額(A-B)	527,491,986	616,237,870	598,535,523	445,908,440	489,296,736	495,233,969
元本	814,135,208	927,659,014	865,297,008	640,813,329	713,312,542	706,940,760
次期繰越損益金	△286,643,222	△311,421,144	△266,761,485	△194,904,889	△224,015,806	△211,706,791
(D) 受益権総口数	814,135,208口	927,659,014口	865,297,008口	640,813,329口	713,312,542口	706,940,760口
1万口当たり基準価額(C/D)	6,479円	6,643円	6,917円	6,958円	6,859円	7,005円

○損益の状況

項 目	第73期	第74期	第75期	第76期	第77期	第78期
	2017年3月28日～ 2017年4月25日	2017年4月26日～ 2017年5月25日	2017年5月26日～ 2017年6月26日	2017年6月27日～ 2017年7月25日	2017年7月26日～ 2017年8月25日	2017年8月26日～ 2017年9月25日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	△ 169	△ 179	△ 165	△ 226	△ 198	△ 182
支払利息	△ 169	△ 179	△ 165	△ 226	△ 198	△ 182
(B) 有価証券売買損益	△ 3,043,614	19,690,229	28,859,104	6,064,647	△ 1,689,877	14,763,364
売買益	126,609	19,886,515	30,386,693	10,949,607	542,857	15,082,796
売買損	△ 3,170,223	△ 196,286	△ 1,527,589	△ 4,884,960	△ 2,232,734	△ 319,432
(C) 信託報酬等	△ 279,402	△ 297,285	△ 338,872	△ 292,986	△ 263,555	△ 270,548
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 3,323,185	19,392,765	28,520,067	5,771,435	△ 1,953,630	14,492,634
(E) 前期繰越損益金	△ 60,934,866	△ 65,565,717	△ 44,004,340	△ 12,831,199	△ 8,672,629	△ 12,581,425
(F) 追加信託差損益金	△217,500,360	△259,682,238	△246,085,430	△184,000,246	△209,109,672	△209,376,356
(配当等相当額)	(111,037,885)	(124,014,588)	(113,662,997)	(83,111,090)	(91,208,909)	(88,953,670)
(売買損益相当額)	(△328,538,245)	(△383,696,826)	(△359,748,427)	(△267,111,336)	(△300,318,581)	(△298,330,026)
(G) 計 (D + E + F)	△281,758,411	△305,855,190	△261,569,703	△191,060,010	△219,735,931	△207,465,147
(H) 収益分配金	△ 4,884,811	△ 5,565,954	△ 5,191,782	△ 3,844,879	△ 4,279,875	△ 4,241,644
次期繰越損益金 (G + H)	△286,643,222	△311,421,144	△266,761,485	△194,904,889	△224,015,806	△211,706,791
追加信託差損益金	△219,779,939	△262,186,918	△247,642,965	△185,410,035	△210,964,285	△210,719,543
(配当等相当額)	(108,828,718)	(121,852,230)	(112,222,515)	(81,932,577)	(89,754,109)	(87,658,644)
(売買損益相当額)	(△328,608,657)	(△384,039,148)	(△359,865,480)	(△267,342,612)	(△300,718,394)	(△298,378,187)
分配準備積立金	64,118	69,937	35,108	30,411	51,101	9,182
繰越損益金	△ 66,927,401	△ 49,304,163	△ 19,153,628	△ 9,525,265	△ 13,102,622	△ 996,430

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

- ①作成期首（前作成期末）元本額 817,409,424円
 作成期中追加設定元本額 432,688,213円
 作成期中一部解約元本額 543,156,877円
 また、1口当たり純資産額は、作成期末0.7005円です。
- ②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は211,706,791円です。
- ③分配金の計算過程

項 目	2017年3月28日～ 2017年4月25日	2017年4月26日～ 2017年5月25日	2017年5月26日～ 2017年6月26日	2017年6月27日～ 2017年7月25日	2017年7月26日～ 2017年8月25日	2017年8月26日～ 2017年9月25日
費用控除後の配当等収益額	2,618,487円	3,068,335円	3,606,845円	2,441,938円	2,448,582円	2,858,376円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	－円	－円	－円	－円	－円	－円
収益調整金額	111,108,297円	124,356,910円	113,780,050円	83,342,366円	91,608,722円	89,001,831円
分配準備積立金額	50,863円	62,876円	62,510円	23,563円	27,781円	49,263円
当ファンドの分配対象収益額	113,777,647円	127,488,121円	117,449,405円	85,807,867円	94,085,085円	91,909,470円
1万円当たり収益分配対象額	1,397円	1,374円	1,357円	1,339円	1,318円	1,300円
1万円当たり分配金額	60円	60円	60円	60円	60円	60円
収益分配金金額	4,884,811円	5,565,954円	5,191,782円	3,844,879円	4,279,875円	4,241,644円

○分配金のお知らせ

	第73期	第74期	第75期	第76期	第77期	第78期
1万口当たり分配金（税込み）	60円	60円	60円	60円	60円	60円

◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<http://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

【お知らせ】

2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。）の税率が適用されます。

メキシコ・ペソ債券オープン マザーファンド

《第13期》決算日2017年9月25日

[計算期間：2017年3月28日～2017年9月25日]

「メキシコ・ペソ債券オープン マザーファンド」は、9月25日に第13期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第13期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	安定したインカムゲインの確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。
主 要 運 用 対 象	メキシコ・ペソ建のソブリン債券（国債、政府保証債等をいいます。）および準ソブリン債券（政府の出資比率が50%を超えている企業の発行する債券をいいます。）
主 な 組 入 制 限	<ul style="list-style-type: none"> ・ ソブリン債券以外への投資割合は、取得時において、当マザーファンドの純資産総額の35%以内とします。 ・ 同一企業が発行する債券への投資割合は、当マザーファンドの純資産総額の10%以内とします。 ・ 外貨建資産への投資割合は、制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額	期 騰 落 中 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
		期 騰	落 中 率			
9期(2015年9月25日)	円		%	%	%	百万円
10期(2016年3月25日)	13,014	△	9.3	96.5	—	367
11期(2016年9月26日)	12,069	△	7.3	96.0	—	294
12期(2017年3月27日)	9,782	△	18.9	95.2	—	256
13期(2017年9月25日)	11,236		14.9	93.0	—	536
	12,657		12.6	96.7	—	493

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
		騰	落			
(期 首) 2017年3月27日	円 11,236		% —		% 93.0	% —
3月末	11,451		1.9	95.3	—	—
4月末	11,160	△	0.7	94.5	—	—
5月末	11,320		0.7	93.6	—	—
6月末	12,204		8.6	93.7	—	—
7月末	12,224		8.8	95.4	—	—
8月末	12,345		9.9	96.9	—	—
(期 末) 2017年9月25日	12,657		12.6	96.7	—	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

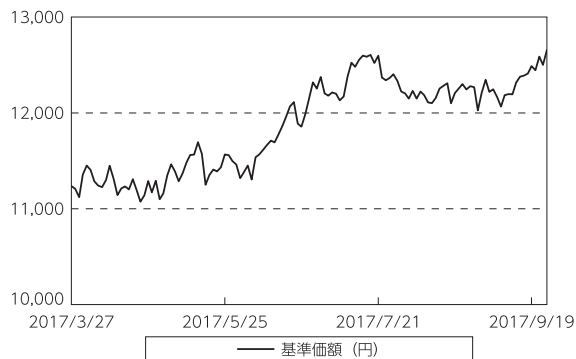
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ12.6%の上昇となりました。

基準価額等の推移



●投資環境について

◎債券市況

・メキシコの債券市場では、長期金利は低下しました。期初は米国政府が北米自由貿易協定(NAFTA)からの早期の脱退意向を表明する

ための大統領令を検討していると報道されたことや、メキシコの消費者物価指数(CPI)の伸び率が市場予想を上回り、追加利上げ観測が高まったことなどを背景に、金利は上昇しました。しかしその後、2017年6月の金融政策決定会合で中央銀行であるメキシコ銀行が利上げを決定したものの、投票メンバーの1人が利上げに反対するなど先行きについて中立的な姿勢を示唆したことなどから金利は低下し、当期を通じて見ると長期金利は低下しました。

◎為替市況

・メキシコ・ペソは対円で上昇しました。米国の物価関連指標が市場予想を下回ったことに加え、トランプ大統領を巡る疑惑などを背景に今後の各種政策遂行速度が低下するのではないかとこの懸念が広がったことなどから、米国長期金利が低下基調に転じる中、相対的に高利回りの新興国通貨が選好され、メキシコ・ペソは対円で上昇しました。また、2018年の次期大統領選挙の前哨戦とみられたメキシコの地方選挙で、与党・制度的革命党(PRI)が勝利し、国内の政治リスクが後退したことなども、メキシコ・ペソが対円で上昇する要因となりました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・メキシコ・ペソ建のソブリン債券（国債、政府保証債等をいいます。以下同じ。）、準ソブリン債券（政府の出資比率が50%を超えている企業の発行する債券をいいます。以下同じ。）を主要投資対象として、これらの債券を高位に組み入れ、残存期間の異なる債券に分散して投資を行うことで、特定年限の債券の金利水準や価格変動の影響を軽減させることをめざして運用を行いました。
- ・各残存期間ごとの投資金額が同額程度となるような運用をめざしましたが、債券の発行状況等により同額程度とならないこともありました。
- ・前記の運用を行った結果、メキシコ・ペソが対円で上昇したことや、保有債券の利回りが低下したこと、保有債券の利息収入が得られたことなどがプラスに寄与し、基準価額は期首に比べ上昇しました。

○今後の運用方針

◎運用環境の見通し

- ・債券市場では、期待インフレ率は安定して推移しており今後物価はピークアウトするとみられるものの、中央銀行であるメキシコ銀行は物価水準が目標範囲内になるまでは現状の政策金利水準を維持すると思われ、国債利回りは安定して推移するとみています。
- ・為替市場では、米国のメキシコに対する強硬姿勢は軟化してきており、NAFTAの再交渉も早期妥結する可能性があることなどから、相対的に高い金利水準などを背景にメキシコ・ペソは日本円に対して底堅く推移するとみています。

◎今後の運用方針

- ・引き続き、メキシコ・ペソ建のソブリン債券、準ソブリン債券を主要投資対象として、残存期間の異なる債券に分散して投資を行うことで、特定年限の債券の金利水準や価格変動の影響を軽減させることをめざして運用を行います。
- ・各残存期間ごとの投資金額が同額程度となるような運用をめざします。なお、債券の発行状況等により同額程度とならない場合があります。

○1万口当たりの費用明細

(2017年3月28日～2017年9月25日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 6	% 0.051	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(6)	(0.049)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.002)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	6	0.051	
期中の平均基準価額は、11,784円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2017年3月28日～2017年9月25日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	メキシコ	国債証券	千メキシコペソ 24,890	千メキシコペソ 35,204

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

○利害関係人との取引状況等

(2017年3月28日～2017年9月25日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2017年9月25日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千メキシコペソ	千メキシコペソ	千円	%	%	%	%	%
メキシコ	73,690	75,346	477,695	96.7	—	38.5	38.7	19.5
合 計	73,690	75,346	477,695	96.7	—	38.5	38.7	19.5

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄			当 期 末				償還年月日
			利 率	額面金額	評 価 額		
					外貨建金額	邦貨換算金額	
メキシコ		%	千メキシコペソ	千メキシコペソ	千円		
	国債証券						
		10 MEXICAN BONOS 241205	10.0	6,060	7,222	45,792	2024/12/5
		5 MEXICAN BONOS 191211	5.0	7,600	7,349	46,598	2019/12/11
		5.75 MEXICAN BONO 260305	5.75	8,100	7,607	48,231	2026/3/5
		6.5 MEXICAN BONOS 210610	6.5	7,440	7,420	47,046	2021/6/10
		6.5 MEXICAN BONOS 220609	6.5	7,740	7,714	48,912	2022/6/9
		7.5 MEXICAN BONOS 270603	7.5	7,100	7,467	47,347	2027/6/3
		7.75 MEXICAN BONO 171214	7.75	7,750	7,759	49,196	2017/12/14
		8 MEXICAN BONOS 200611	8.0	7,400	7,657	48,550	2020/6/11
		8 MEXICAN BONOS 231207	8.0	7,200	7,707	48,863	2023/12/7
		8.5 MEXICAN BONOS 181213	8.5	7,300	7,437	47,155	2018/12/13
合 計						477,695	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

○投資信託財産の構成

(2017年9月25日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 477,695	% 96.4
コール・ローン等、その他	17,621	3.6
投資信託財産総額	495,316	100.0

(注) 期末における外貨建純資産(488,225千円)の投資信託財産総額(495,316千円)に対する比率は98.6%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1メキシコペソ=6.34円		
---------------	--	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2017年9月25日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	495,316,836
コール・ローン等	8,851,117
公社債(評価額)	477,695,649
未収利息	8,059,255
前払費用	710,815
(B) 負債	1,543,288
未払解約金	1,543,276
未払利息	12
(C) 純資産総額(A-B)	493,773,548
元本	390,113,421
次期繰越損益金	103,660,127
(D) 受益権総口数	390,113,421口
1万口当たり基準価額(C/D)	12,657円

<注記事項>

- ①期首元本額 477,238,058円
 期中追加設定元本額 184,290,676円
 期中一部解約元本額 271,415,313円
 また、1口当たり純資産額は、期末12,657円です。

- ②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)
 国際 メキシコ・ペソ債券オープン(毎月決算型) 390,113,421円

○損益の状況 (2017年3月28日～2017年9月25日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	19,069,804
受取利息	19,076,125
支払利息	△ 6,321
(B) 有価証券売買損益	49,763,459
売買益	51,104,430
売買損	△ 1,340,971
(C) 保管費用等	△ 273,249
(D) 当期損益金(A+B+C)	68,560,014
(E) 前期繰越損益金	58,963,512
(F) 追加信託差損益金	33,936,436
(G) 解約差損益金	△ 57,799,835
(H) 計(D+E+F+G)	103,660,127
次期繰越損益金(H)	103,660,127

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。